

## 認定第 2 号

令和 7 年度若狭町水道事業会計、若狭町工業用水道事業会計、若狭町下水道事業会計及び若狭町国民健康保険上中診療所事業会計決算の認定について

地方公営企業法（昭和 2 7 年法律第 2 9 2 号）第 3 0 条第 4 項の規定により、令和 7 年度若狭町水道事業会計、若狭町工業用水道事業会計、若狭町下水道事業会計及び若狭町国民健康保険上中診療所事業会計決算を、別紙のとおり監査委員の意見書を付けて、議会の認定に付する。

令和 8 年 9 月 7 日提出

若狭町長 渡辺 英朗

令和 7 年度 若狭町企業会計決算審査意見書

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により、審査に付された令和 7 年度若狭町の水道事業会計、工業用水道事業会計、下水道事業会計及び国民健康保険上中診療所事業会計決算並びに証拠書類を審査したので、別紙のとおり意見書を提出します。

令和 8 年 8 月 27 日

若狭町長 渡辺 英朗 殿

|         |       |
|---------|-------|
| 若狭町監査委員 | 内藤 久幸 |
| 同       | 辻岡 正和 |

# 若 狭 町 決 算 審 査 意 見 書

企 業 会 計

若 狭 町 監 査 委 員

# 第1 審査の概要

## 1 審査の対象

- (1) 令和7年度 若狭町水道事業会計決算報告書
- (2) 令和7年度 若狭町工業用水道事業会計決算報告書
- (3) 令和7年度 若狭町下水道事業会計決算報告書
- (4) 令和7年度 若狭町国民健康保険上中診療所事業会計決算報告書

## 2 審査の期日

令和8年6月25日

## 3 審査の方法

審査に付された各事業会計の決算報告書、財務諸表並びに事業報告書など政令で定める諸書類について、計数の正確性及び適法性を慎重に精査するとともに、関係部局から説明を聴取し、関係諸帳簿、証拠書類との照合などを行なった。

その中で、予算が適正かつ効率的に執行されているか、財政運営は健全か、財産管理の適正化及び効果的な基金運用など、「最少の経費で最大の効果」を得るべく努力がなされているかに主眼を置き、公正不偏の態度を保持して審査した。

## 4 審査の結果

審査に付された各事業会計の決算報告書、財務諸表並びに事業報告書など政令で定める諸書類について、いずれも関係法令に定める様式を基準に作成されており、その計数は、関係諸帳簿、証拠書類と照合した結果、正確に整備されていると認められた。また、予算の執行状況は概ね所期の目的に従って執行され、その事務の処理は適正に行われていた。出納の状況については、毎月の例月監査の実施によって、予算執行及び運用面についてもその都度審査を行っており、何ら違法な支払いもなく金融機関の出納も適正であることを確認した。

以上により、各事業会計の運営は公営企業本来の目的である公共の福祉を増進することに配慮して行なわれているものと認めた。

## 第2 企 業 会 計

### 1 総 括

公営企業法を適用している企業会計は、水道事業会計と工業用水道事業会計、下水道事業会計、上中診療所事業会計の4会計で、各会計の収支状況は次のとおりである。

水道事業会計 (単位：千円)

| 区 分       | 収 入     | 支 出     | 差 引     | 備 考   |
|-----------|---------|---------|---------|-------|
| (1) 収益的収支 | 376,209 | 372,042 | 4,167   | 消費税抜き |
| (2) 資本的収支 | 416,102 | 476,255 | △60,153 | 消費税込み |

工業用水道事業会計 (単位：千円)

| 区 分       | 収 入    | 支 出    | 差 引    | 備 考   |
|-----------|--------|--------|--------|-------|
| (1) 収益的収支 | 23,721 | 33,649 | △9,928 | 消費税抜き |
| (2) 資本的収支 | 0      | 0      | 0      | 消費税込み |

下水道事業会計 (単位：千円)

| 区 分       | 収 入     | 支 出     | 差 引      | 備 考   |
|-----------|---------|---------|----------|-------|
| (1) 収益的収支 | 856,216 | 827,949 | 28,267   | 消費税抜き |
| (2) 資本的収支 | 388,499 | 624,705 | △236,206 | 消費税込み |

上中診療所事業会計 (単位：千円)

| 区 分       | 収 入     | 支 出     | 差 引     | 備 考   |
|-----------|---------|---------|---------|-------|
| (1) 収益的収支 | 455,938 | 473,791 | △17,852 | 消費税抜き |
| (2) 資本的収支 | 44,793  | 44,881  | △88     | 消費税込み |

\* 四捨五入端数調整しているため、差引は合わない。

## 2 各 会 計

### (1) 水道事業会計

< 表1 有収水量・有効率表 >

| 年 度   | 給水人口     | 給水件数    | 給 水 量                    | 有収水量                     | 有効率   |
|-------|----------|---------|--------------------------|--------------------------|-------|
| 令和7年度 | 12,292 人 | 5,219 件 | 2,040,132 m <sup>3</sup> | 1,609,664 m <sup>3</sup> | 83.1% |
| 令和6年度 | 12,274 人 | 5,151 件 | 2,081,628 m <sup>3</sup> | 1,619,923 m <sup>3</sup> | 82.1% |
| 令和5年度 | 12,539 人 | 5,200 件 | 2,101,930 m <sup>3</sup> | 1,642,767 m <sup>3</sup> | 82.4% |

令和7年度水道事業については、給水人口は12,292人で、給水普及率は94.5%となった。年間給水量については、2,040,132m<sup>3</sup>となり、令和7年度においては、簡易水道から上水道への移行により、給水人口は微増しているものの、人口減少、物価上昇の影響等から減少傾向にある。また、有効率については、横ばい状態が続いている。

収益的収入では、3億7,620万9千円で、主なものは、給水収益2億8,250万6千円などの営業収益が2億9,482万5千円、長期前受金戻入6,268万8千円、一般会計補助金1,600万円などの営業外収益が8,138万3千円となっている。

収益的支出では、3億7,204万2千円で、主なものは、減価償却費1億7,510万9千円、総係費5,092万4千円、原水及び浄水費5,369万8千円などの営業費用が3億2,833万7千円、支払利息を主とする営業外費用が4,348万1千円となっている。その結果、差引当年度純利益は、416万7千円となっている。

資本的収入は総額4億1,610万2千円で、内訳は企業債4億220万円、工事負担金1,390万2千円となっている。これに対し資本的支出は、総額4億7,625万5千円で、内訳は建設改良費3億8,739万2千円、企業債償還金8,886万3千円となっており、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額6,015万3千円は、当年度分消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金で補てんされている。

今後も、若狭町上下水道ビジョンに基づき、施設の統廃合や耐震化等の整備を計画的に進めるとともに、定期的な漏水調査の実施や計画的な老朽管の更新工事実施により、引き続き有効率の向上に努められ、良質水の安定供給のために、長期的視野に立った健全な水道事業の運営を願うものである。

## (2) 工業用水道事業会計

<表 1 契約給水量>

(単位：m<sup>3</sup>/日)

| 年度      | (株) 美 十 | フコインケミカル(株) | 北陸トラック運送(株) | ダイセン(株) | 大和川紙工(株) | AGC 若狭化学(株) | (株)エイ・ダブルユ若狭 |
|---------|---------|-------------|-------------|---------|----------|-------------|--------------|
| 令和 7 年度 | 40      | 15          | 15          | 20      | 35       | 170         | 240          |
| 令和 6 年度 | 40      | 15          | 15          | 20      | 35       | 290         | 240          |
| 令和 5 年度 | 40      | 15          | 15          | 20      | 35       | 290         | 240          |

<表 2 実給水量>

(単位：m<sup>3</sup>/年)

| 年度      | (株) 美 十 | フコインケミカル(株) | 北陸トラック運送(株) | ダイセン(株) | 大和川紙工(株) | AGC 若狭化学(株) | (株)エイ・ダブルユ若狭 |
|---------|---------|-------------|-------------|---------|----------|-------------|--------------|
| 令和 7 年度 | 6,152   | 6,938       | 2,903       | 1,734   | 2,702    | 31,841      | 21,984       |
| 令和 6 年度 | 8,792   | 5,745       | 2,594       | 1,822   | 1,627    | 35,411      | 17,693       |
| 令和 5 年度 | 7,716   | 3,133       | 775         | 596     | 706      | 32,310      | 11,461       |

令和 7 年度の受水企業数は 7 社で、1 日 5 3 5 m<sup>3</sup>、年間 1 9 5, 2 7 5 m<sup>3</sup>の契約水量に対し、実給水量は 7 4, 2 5 4 m<sup>3</sup>となっている。

収益的収支について、総収益は、給水収益 7 3 2 万 8 千円を主とする 2, 3 7 2 万 1 千円であり、総費用は取水及び送水費 2 3 3 万 3 千円、総係費 5 2 5 万 9 千円、減価償却費 2, 5 7 2 万 7 千円などの 3, 3 6 4 万 9 千円となっている。その結果、差引当年度純損失は、9 9 2 万 8 千円となっている。

資本的収入及び支出はなかった。

今後も、社会情勢の変化と各受水企業の水需要計画に沿った給水業務に対応するべく、契約水量及び実給水量に対し、適正な施設計画の検討を行うとともに、給水企業への安定供給と効率的な経営に努められたい。また今後、給配水設備・機器等の更新が必要になってくると思われるが、計画性をもって対応されたい。

### (3) 下水道事業会計

< 表1 業務実績 >

| 項 目       | 単位             | 令和7年度末    | 令和6年度末    | 対前年度比較   |       |
|-----------|----------------|-----------|-----------|----------|-------|
|           |                |           |           | 増 減      | 比率(%) |
| 行政区域内人口   | 人              | 13,005    | 13,242    | △237     | △1.8  |
| 処理区域内人口   | 人              | 12,934    | 13,170    | △236     | △1.8  |
| 接 続 済 人 口 | 人              | 12,525    | 12,691    | △166     | △1.3  |
| 水 洗 化 率   | %              | 96.8      | 96.4      | 0.4      |       |
| 年間総処理水量   | m <sup>3</sup> | 2,081,377 | 2,191,770 | △110,393 | △5.0  |
| 一日平均処理水量  | m <sup>3</sup> | 5,702     | 6,004     | △302     | △5.0  |

令和7年度下水道事業会計については、令和7年度末における接続済人口は12,525人となり、前年度に比べ166人(△1.3%)減少した。年間総処理水量は2,081,377m<sup>3</sup>で、人口減少、物価上昇の影響等により前年度に比べ110,393m<sup>3</sup>(△5.0%)減少した。

収益的収入では、8億5,621万6千円で、主なものは、下水道使用料3億1,815万2千円などの営業収益が3億1,822万6千円、長期前受金戻入2億5,334万1千円、一般会計補助金2億8,132万4千円などの営業外収益が5億3,798万円となっている。

収益的支出では、8億2,794万9千円で、主なものは、減価償却費5億267万4千円、総係費5,720万9千円、処理場費1億7,775万円などの営業費用が7億9,717万円、支払利息を主とする営業外費用が3,077万

3千円となっている。その結果、差引当年度純利益は、2,826万7千円となっている。

資本的収入は総額3億8,849万9千円で、内訳は一般会計出資金1億5,883万1千円、国、県支出金8,245万5千円、企業債1億2,390万円となっている。これに対し資本的支出は、総額6億2,470万5千円で、内訳は建設改良費2億4,919万8千円、企業債償還金3億7,550万6千円となっており、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額2億3,620万6千円は、引継現金、当年度分消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金で補てんされている。

今後も、若狭町上下水道ビジョンに基づき、施設の統廃合を含め耐震化、老朽化対策を計画的に実施するとともに、コストの低減化を図る等、長期的視野に立った持続可能で健全な下水道事業の運営を願うものである。

#### (4) 上中診療所事業会計

##### (ア) 業務量

##### ① 延入院患者数

| 事 項       | 令和7年度<br>(人) | 令和6年度<br>(人) | 前年度比較  |       |
|-----------|--------------|--------------|--------|-------|
|           |              |              | 増 減(人) | 比率(%) |
| 一般病棟 19 床 | 4,568        | 4,742        | △174   | △3.7  |

##### ② 延外来患者数

| 事 項        | 令和7年度<br>(人) | 令和6年度<br>(人) | 前年度比較  |       |
|------------|--------------|--------------|--------|-------|
|            |              |              | 増 減(人) | 比率(%) |
| 医科外来       | 14,467       | 14,446       | 21     | 0.1   |
| 歯科外来       | 5,353        | 5,351        | 2      | 0.0   |
| 介護保険在宅サービス | 5,927        | 5,741        | 186    | 3.2   |
| 計          | 25,747       | 25,538       | 209    | 0.8   |

収益的収支の状況は、総収益4億5,593万8千円に対し、総費用4億7,379万1千円となり、当年度純損失は1,785万2千円となっている。

医業収益においては、入院患者数では前年度比174人の減、外来患者数では内科では前年度比21人の増、歯科では前年度比2人の増、通所リハビリテーションを始めとする介護保険在宅サービスでは、前年度比186人の増となり、対前年度比は増収となっている。対する医業費用においても前年度比は増となり、純損失は増加した。

主な要因として、外来収益、歯科収益、介護収益は増収となったが、入院収益、その他医業収益の減収により、医業収益が減収（前年度比△1.3ポイント）となった。また、人事院勧告等により会計年度任用職員を含む給与費の改定が行われたことにより、事業費が増となった。今後も必要な人員を確保しつつ、引き続き経営改善に取り組んでいただきたい。

資本的収支の状況について、資本的収入は総額4,479万3千円で、補助金76万円、企業債410万円、負担金110万円、出資金3,883万3千円となっており、資本的支出は総額4,488万1千円で、建設改良費604万9千円、企業債の償還に3,883万3千円を支出し、収支不足額8万8千円については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てんしている。

医療人材の確保や物価高騰など、医療機関を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況であるが、町民の健康を担う自治体医療機関として、少子高齢社会に対応するため、医療はもとより保健・福祉・医療の連携強化を図りながら、地域包括ケアシステムの一翼を担うとともに、長期的展望に立った経営に一層の努力を願うものである。

## (イ) 事業収入に関する事項

(消費税抜額)

| 年 度<br>項 目     |           | 令和7年度<br>(円) | 令和6年度<br>(円) | 比 較        |       |
|----------------|-----------|--------------|--------------|------------|-------|
|                |           |              |              | 増 減(円)     | 比率(%) |
| 経 常 収 益        |           | 455,938,473  | 454,411,845  | 1,526,628  | 0.3   |
| ① 医 業 収 益      |           | 290,533,231  | 294,342,117  | △3,808,886 | △1.3  |
|                | ア 入院収益    | 80,732,392   | 85,933,806   | △5,201,414 | △6.1  |
|                | イ 外来収益    | 100,733,110  | 97,860,688   | 2,872,422  | 2.9   |
|                | ウ 歯科収益    | 41,774,111   | 40,750,198   | 1,023,913  | 2.5   |
|                | エ 介護収益    | 45,539,632   | 43,721,209   | 1,818,423  | 4.2   |
|                | オ その他医業収益 | 21,753,986   | 26,076,216   | △4,322,230 | △16.6 |
| ② 医 業 外 収 益    |           | 165,405,242  | 160,069,728  | 5,335,514  | 3.3   |
| うち他会計負担金       |           | 123,614,000  | 120,000,000  | 3,614,000  | 3.0   |
| 1人<br>当り<br>収益 | 入院収益      | 17,673       | 18,122       | △448       | △2.5  |
|                | 外来収益      | 6,963        | 6,774        | 189        | 2.8   |
|                | 歯科収益      | 7,804        | 7,615        | 188        | 2.5   |

## (ウ) 事業費に関する事項

(消費税抜額)

| 年 度<br>項 目  |         | 令和7年度<br>(円) | 令和6年度<br>(円) | 比 較        |           |
|-------------|---------|--------------|--------------|------------|-----------|
|             |         |              |              | 増 減(円)     | 比率<br>(%) |
| 経 常 費 用     |         | 473,790,552  | 469,501,503  | 4,289,049  | 0.9       |
| ① 医 業 費 用   |         | 459,043,457  | 452,529,535  | 6,513,922  | 1.4       |
|             | ア 給 与 費 | 280,305,661  | 270,042,765  | 10,262,896 | 3.8       |
|             | イ 材 料 費 | 29,765,697   | 32,147,111   | △2,381,414 | △7.4      |
|             | ウ 経 費   | 85,858,903   | 88,256,036   | △2,397,133 | △2.7      |
|             | エ 研究研修費 | 129,010      | 245,675      | △116,665   | △47.5     |
|             | オ 減価償却費 | 61,968,575   | 57,667,918   | 4,300,657  | 7.5       |
|             | カ 資産減耗費 | 1,015,611    | 4,170,030    | △3,154,419 | △75.6     |
| ② 医 業 外 費 用 |         | 14,747,095   | 16,971,968   | △2,224,873 | △13.1     |
| ③ 特 別 損 失   |         | 0            | 0            | 0          | 0.0       |